

2. 物品の機能を果たすために必要な表示を行う画像の例

1	意匠登録第 1434670 号	デジタルカメラ
2	意匠登録第 1437191 号	デジタルカメラ
3	意匠登録第 1437566 号	デジタルカメラ
4	意匠登録第 1437194 号	デジタルカメラ
5	意匠登録第 1437571 号	デジタルカメラ
6	意匠登録第 1429417 号	デジタルカメラ
7	意匠登録第 1434848 号	デジタルカメラ
8	意匠登録第 1437186 号	デジタルカメラ
9	意匠登録第 1437560 号	デジタルカメラ

【登録番号】 意匠登録第 1434670 号

【出願日(出願基準日)】 2011.09.20

【意匠分類】 J3-231 W

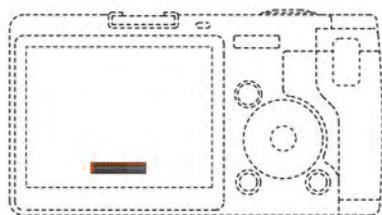
【意匠に係る物品】 デジタルカメラ

【意匠に係る物品の説明】 本物品は、カメラの前後左右の傾きを感知する水準器機能を有するデジタルカメラである。表示部に表された図形は、カメラの傾きを確認するための水準器表示である。水平の基準線(色線)の位置又は形状の変化で前後の傾きを示し、垂直の基準線(色線)の位置又は形状の変化で左右の傾きを示す。表示部拡大図1から表示部拡大図3は、カメラの傾きによる画像の変化を表したものである。表示部拡大図1は前・右に大きく傾いた状態を示す。表示部拡大図2は、僅かに前・右に傾いた状態を示す。表示部拡大図3は、前後・左右とも水平であることを示す。なお、参考表示部拡大図1は、前後は水平で僅かに右に傾いていることを示す。参考表示部拡大図2は、僅かに前に傾き左右は水平であることを示す。

【意匠の説明】 実線及び色彩(黒色の背景を含む)で表した矩形部分が、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。黒色で示した背景は半透明であり、水準器表示の下側の表示(ライブビュー画像等)を透過する。背面図、右側面図、底面図は、意匠登録を受けようとする部分が表れないため省略する。

【部分意匠】

【正面図】



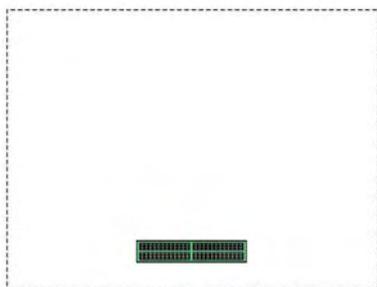
【表示部拡大図1】



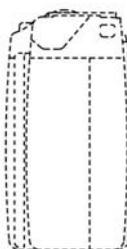
【表示部拡大図2】



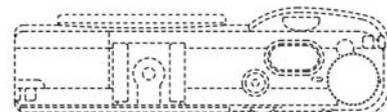
【表示部拡大図3】



【左側面図】



【平面図】



【参考表示部拡大図1】



【参考表示部拡大図2】



【登録番号】

意匠登録第 1437191 号

【出願日(出願基準日)】

2011.08.23

【意匠分類】

J3-231 W

【意匠に係る物品】

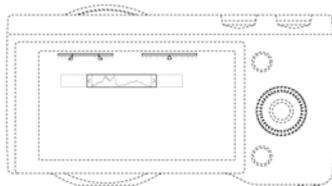
デジタルカメラ

【意匠の説明】

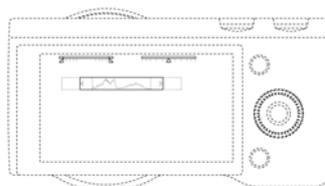
破線で表した部分以外の部分が部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。同部分は、露出の異なる複数の画像を合成する技術であるハイダイナミックレンジ合成の操作に用いるGUIであり、ダイヤルの操作によって合成用画像の露出差を拡大縮小すると、背面図及び背面図2に示すように、左上のインジケータにおけるポイント間の幅及び撮影対象の輝度情報を表すヒストグラムが配された領域が、これに伴い拡大縮小する。また、他のダイヤルの操作によって露出を調整すると、背面図2及び同3に示すように、右上のインジケータにおけるポイントの位置及びヒストグラム表示領域が、これに伴って左右に移動する。これによって、ユーザに対し、露出差の異なる画像が撮影される範囲が視覚的に分かり易く示されることになる。正面図、右側面図及び底面図は、意匠登録を受けようとする部分以外の部分のみが現れるので省略する。

【部分意匠】

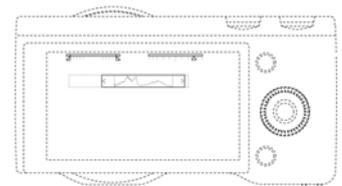
【背面図】



【背面図2】



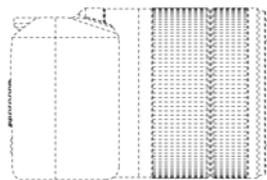
【背面図3】



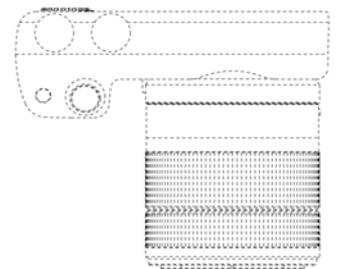
【使用状態の一例を示す
参考背面図】



【左側面図】



【平面図】



【登録番号】 意匠登録第 1437566 号

【出願日(出願基準日)】 2011.08.23

【意匠分類】 J3-231 W

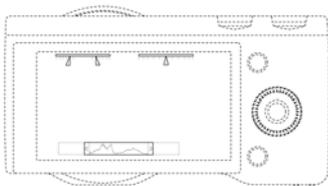
【意匠に係る物品】 デジタルカメラ

【意匠の説明】 破線で表した部分以外の部分が部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。同部分は、露出の異なる複数の画像を合成する技術であるハイダイナミックレンジ合成の操作に用いるGUIであり、ダイヤルの操作によって合成用画像の露出差を拡大縮小すると、背面図及び背面図2に示すように、左上のインジケータにおけるポインタ間の幅及び撮影対象の輝度情報を表すヒストグラムが配された領域が、これに伴い拡大縮小する。また、他のダイヤルの操作によって露出を調整すると、背面図2及び同3に示すように、右上のインジケータにおけるポインタの位置及びヒストグラム表示領域が、これに伴って左右に移動する。これによって、ユーザに対し、露出差の異なる画像が撮影される範囲が視覚的に分かり易く示されることになる。正面図、右側面図及び底面図は、意匠登録を受けようとする部分以外の部分のみが現れるので省略する。

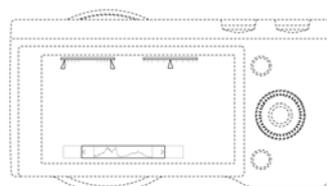
【本意匠番号】 意匠登録第 1437191 号

【部分意匠】

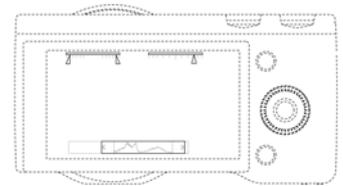
【背面図】



【背面図2】



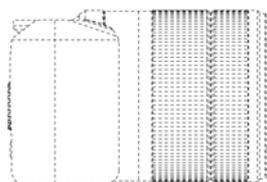
【背面図3】



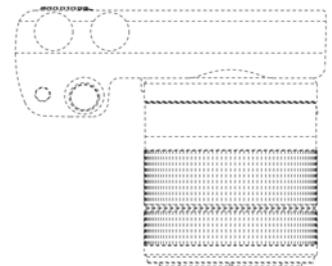
【使用状態の一例を示す
参考背面図】



【左側面図】



【平面図】



【登録番号】 意匠登録第 1437194 号

【出願日(出願基準日)】 2011.08.23

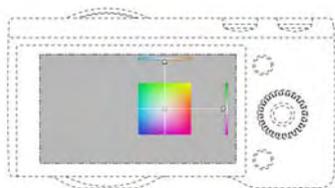
【意匠分類】 J3-231 W

【意匠に係る物品】 デジタルカメラ

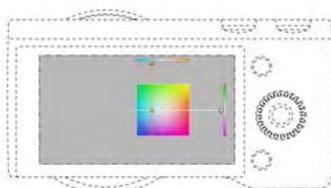
【意匠の説明】 一点鎖線で囲んだ部分のうち、薄墨色で着色した部分以外の部分が、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。同部分はホワイトバランスの補正の操作に用いる画像であり、直交する2本の線のうちの縦線がBlue-Amber軸の調整値を示し、横線がGreen-Magenta軸の調整値を示しており、その交点によって撮影画像に対する補正の内容が示される。縦線は、ボディ上部のダイヤルの回転により背面図2に示すように左右方向に移動する。横線は、ボディ背面のダイヤルの回転によって背面図3に示すように上下方向に移動する。正面図、右側面図及び底面図は、意匠登録を受けようとする部分以外の部分のみが現れるので省略する。

【部分意匠】

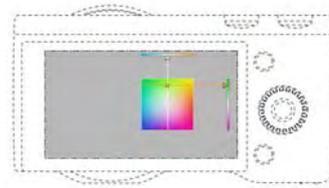
【背面図】



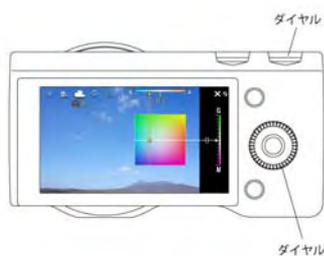
【背面図2】



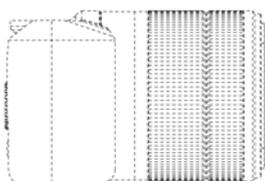
【背面図3】



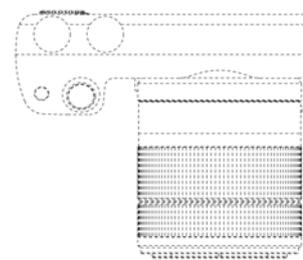
【使用状態の一例を示す
参考背面図】



【左側面図】



【平面図】



【登録番号】 意匠登録第 1437571 号

【出願日(出願基準日)】 2011.08.23

【意匠分類】 J3-231 W

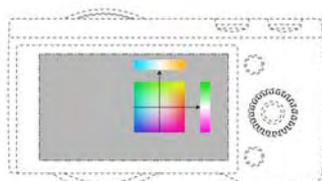
【意匠に係る物品】 デジタルカメラ

【意匠の説明】 一点鎖線で囲んだ部分のうち、薄墨色で着色した部分以外の部分が、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。同部分はホワイトバランスの補正の操作に用いる画像であり、直交する2本の線のうちの縦線がBlue-Amber軸の調整値を示し、横線がGreen-Magenta軸の調整値を示しており、その交点によって撮影画像に対する補正の内容が示される。縦線は、ボディ上部のダイヤルの回転により背面図2に示すように左右方向に移動する。横線は、ボディ背面のダイヤルの回転によって背面図3に示すように上下方向に移動する。正面図、右側面図及び底面図は、意匠登録を受けようとする部分以外の部分のみが現れるので省略する。

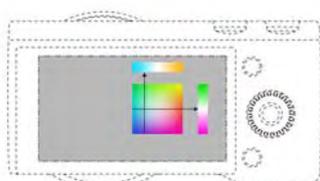
【本意匠番号】 意匠登録第 1437194 号

【部分意匠】

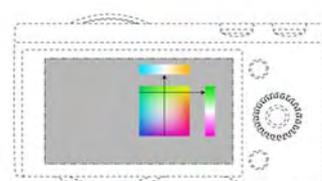
【背面図】



【背面図2】



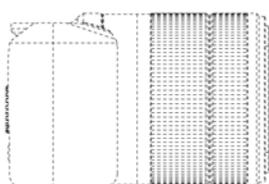
【背面図3】



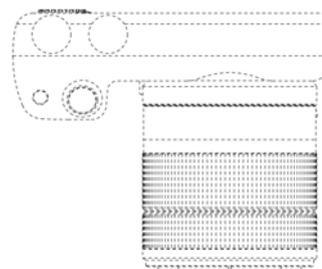
【使用状態の一例を示す
参考背面図】



【左側面図】



【平面図】



【登録番号】 意匠登録第 1429417 号

【出願日(出願基準日)】 2011.02.01

【意匠分類】 J3-231 W

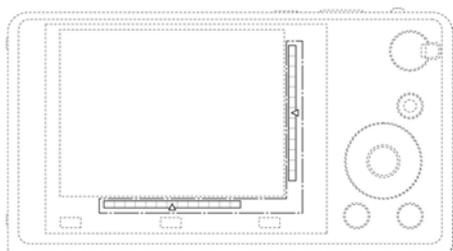
【意匠に係る物品】 デジタルカメラ

【意匠に係る物品の説明】 本物品は、撮影する画像及び撮影後の画像の補正が可能なデジタルカメラである。「背面図」に表された画像は、画像(撮像)補正機能を発揮できる状態にするための画像であって、画像表示部の中央付近に撮像を表示させながら2つのインジケータ上の指標を移動させることにより画像(撮像)を補正するものである。例えば、「使用状態の画像を示す参考図」に示すように、露出と色味とを一つの操作画面で補正することができる。

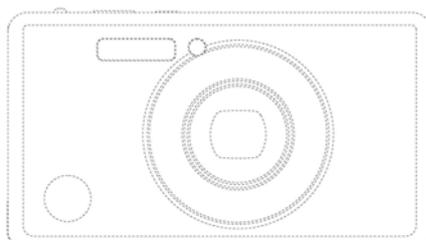
【意匠の説明】 実線で表した部分が、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。一点鎖線は、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分とその他の部分との境界のみを示す線である。

【部分意匠】

【背面図】



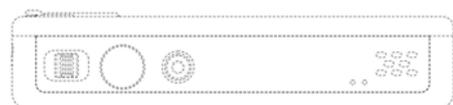
【正面図】



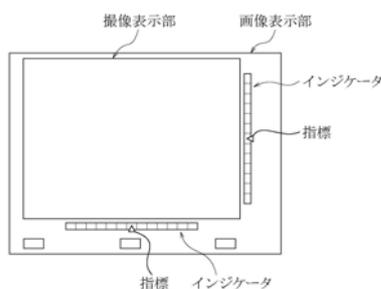
【右側面図】



【平面図】



【画像表示部を示す参考図】



【使用状態の画像を示す参考図】



【登録番号】 意匠登録第 1434848 号

【出願日(出願基準日)】 2011.10.21

【意匠分類】 J3-231 W

【意匠に係る物品】 デジタルカメラ

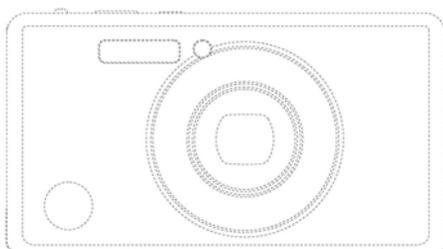
【意匠に係る物品の説明】 本物品は、撮影する画像及び撮影後の画像の補正が可能なデジタルカメラである。「背面図」に表された画像は、画像(撮像)補正機能を発揮できる状態にするための画像であって、画像表示部全体に画像(撮像)を表示させながら2つのインジケータ上の指標を移動させることにより画像(撮像)を補正するものである。例えば、「使用状態の画像を示す参考図」に示すように、露出と色味とを一つの操作画面で補正することができる。

【意匠の説明】 実線で表した部分が、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。一点鎖線は、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分とその他の部分との境界のみを示す線である。

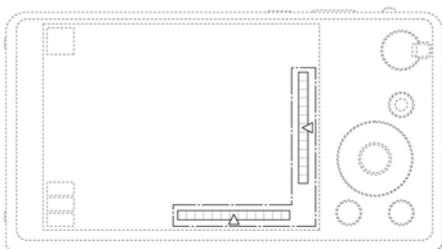
【本意匠番号】 意匠登録第 1429417 号

【部分意匠】

【正面図】



【背面図】



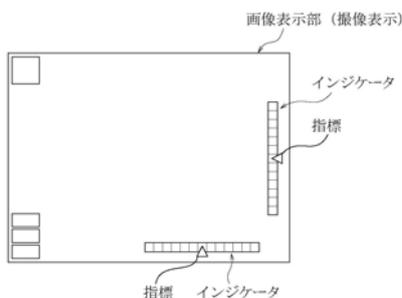
【右側面図】



【平面図】



【画像表示部を示す参考図】



【使用状態の画像を示す参考図】



【登録番号】 意匠登録第 1437186 号

【出願日(出願基準日)】 2011.08.23

【意匠分類】 J3-231 W

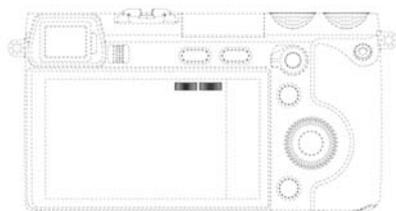
【意匠に係る物品】 デジタルカメラ

【意匠に係る物品の説明】 本願意匠に係る物品は、筐体上方右寄りに2つ並列させたロータリーダイヤルの操作を通じて各種撮影条件の設定及びその変更並びに画像データの再生などの各種モードにおける調節を行う機能を少なくとも備えるデジタルカメラである。前記ロータリーダイヤルには、各種モード別に必要な機能がその都度割り当てられる。

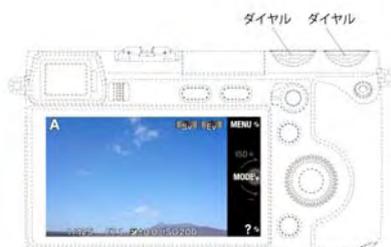
【意匠の説明】 実線で現した部分が部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。同部分は物理的に存在するデバイスとしてのロータリーダイヤルを指標するアイコンであって、画面の上方右寄りに2つ並列されおり、使用状態の一例を示す参考背面図に表すように、割り当てられた機能を表す文字(例えば、感度調節の「Sv」や、露出調節の「Ev」などの文字)を前記アイコン上に表示することによって、その時点で操作ダイヤルにどのような機能が割り当てられているかを示唆してユーザ操作をガイドするための役割を担っている。正面図、右側面図および底面図は、意匠登録を受けようとする部分が表れないため省略する。

【部分意匠】

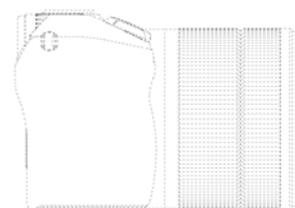
【背面図】



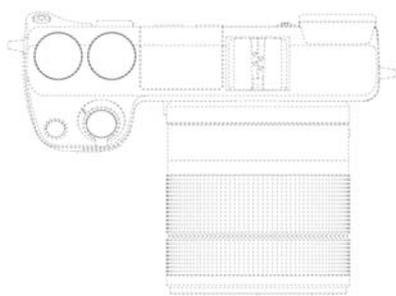
【使用状態の一例を示す参考背面図】



【左側面図】



【平面図】



【登録番号】 意匠登録第 1437560 号

【出願日(出願基準日)】 2011.08.23

【意匠分類】 J3-231 W

【意匠に係る物品】 デジタルカメラ

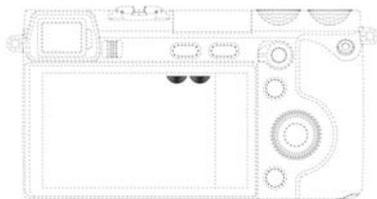
【意匠に係る物品の説明】 本願意匠に係る物品は、筐体上方右寄りに2つ並列させたロータリーダイヤルの操作を通じて各種撮影条件の設定及びその変更並びに画像データの再生などの各種モードにおける調節を行う機能を少なくとも備えるデジタルカメラである。前記ロータリーダイヤルには、各種モード別に必要な機能がその都度割り当てられる。

【意匠の説明】 実線で現した部分が部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。同部分は物理的に存在するデバイスとしてのロータリーダイヤルを指標するアイコンであって、画面の上方右寄りに2つ並列されおり、使用状態の一例を示す参考背面図に表すように、割り当てられた機能を表す文字(例えば、感度調節の「Sv」や、露出調節の「Ev」などの文字)を前記アイコン上に表示することによって、その時点で操作ダイヤルにどのような機能が割り当てられているかを示唆してユーザ操作をガイドするための役割を担っている。正面図、右側面図および底面図は、意匠登録を受けようとする部分が表れないため省略する。

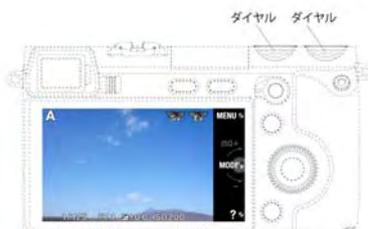
【本意匠番号】 意匠登録第 1437186 号

【部分意匠】

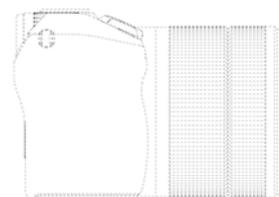
【背面図】



【使用状態の一例を示す
参考背面図】



【左側面図】



【平面図】

